



聖隷こども園  
保育園 保健部会  
2020.6.2

子どもたちが楽しみにしている、水遊びの季節がもうすぐやってきます。みんな元気に夏の活動ができるよう、皮膚の状態をはじめ、子どもの体調をよく見ましょう。

## 皮膚の病気について

夏に注意したい皮膚の感染症があります。普段はじっくり見る機会の少ない首の後ろ側や脇の下、足の付け根、汗のたまりやすい肘膝の裏側など、入浴時に観察するといいですね。もし下記に該当しそうな場合は、早めに皮膚科で診てもらい治療をしましょう。

### ○水いぼ（伝染性軟属腫）

**特徴** 1～5mm（まれに1cm 越えることもあります）くらいの大きさの、丸く光ったイボで、真ん中がくぼんでいることもあります。多くの場合は、数個～数十個集まっています。ウイルスによってうつり、皮膚と皮膚がこすれ合うところによくできます。掻き壊され広がっていきます。

### ○とびひ（伝染性膿痂疹）

**特徴** 虫刺されやあせもなどのすり傷から菌が入り、水ぶくれやジュクジュクした状態になります。感染力が強く、患部を触った手を介して他の皮膚にうつります。

#### \*園生活での注意点

水いぼ・とびひ共に、触れるとうつる可能性があるため、衣類や絆創膏などでしっかり患部を覆ってください。

#### \*水遊びでの注意点

水を介してうつることはありません。しかし、患部を掻くと悪化しやすく、水遊びの後は皮膚の状態が悪くなりやすいです。水いぼは覆ってあれば可能ですが、とびひは受診し治療をしてかさぶたになってからにしましょう。



## 楽しく安全に水遊びをするには

☆こんな時は水遊びを控えましょう



\*薬を飲んでいる、ホクナリンテープ等の貼り薬をしているなど、園の判断で水遊びを控える場合があります。

## 毎日のスキンケアでお肌の健康を保ちましょう

肌荒れがあると皮膚の病気にかかりやすくなるため、日頃からのお手入れが大切です。「皮膚を清潔に保つ」「皮膚の乾燥を防ぐ」といった、スキンケアをしましょう。

### ポイント1

皮膚を洗うときは、石けんをよく泡立て、その泡で洗います。泡が皮膚の汚れをはがし取って包み込むと共に、クッションとなって摩擦による皮膚の刺激を少なくする働きがあります。

### ポイント2

保湿剤や軟膏を塗る際は下記に気をつけましょう。

1. 塗る人の手はきれいに洗っておきます
2. 入浴後、水分を拭き取ったらできるだけ早く塗りましょう
3. たっぷり皮膚に乗せるように塗ります  
※量は下のイラストを参考にしてください

～薬を塗る量～

大人の手のひら2枚分の患部面積に対して  
**0.5g**の薬を塗るのが適量です。

〈軟膏0.5gの目安〉



〈ローション0.5gの目安〉



\*イラストの丸印が洗い残しの多い部位です。